

厚田区コミュニティ「ゆめ倶楽部」(旧:厚田区自治体育振興会) (平成18年10月26日設立 会員数 20名)

【目 的】

スポーツ・食を通じた地域振興に取り組み、地域住民の健康増進と地域間・世代間の交流・親睦を図る事業展開を進め、区内外で「ふるさと厚田」をPRし、地域活性化を図る

【主催事業】

●厚田区スポーツと食の体験(6/23)※室内開催

会場: 望来みなくる多目的ホール

入場者数: 約100名

(玉入れ競技) 10チーム 70名参加

- ・小学生の部3チーム 一般の部4チーム
- ・高齢者の部3チーム 幼児の部1チーム

(チャレンジタイム) 小学生から一般まで40名参加

- ・スピードガン ・輪投げ ・スリッパ飛ばし ・ストラックアウト

(地域おこし協力隊企画) 50名参加

- ・じゃんけん島

(食のひろば)

- ・うまいもん教室(小笠原農園 「お米の話し」 一純 向氏「おにぎりの握り方」)
- ・味わいタイム(バーベキュー交流
きのこ村しいたけ、JA加工品など)



●“厚”“熱”集まれ 夏のビアガーデン(8/2)

会場: 厚田総合センター駐車場

- ・望来豚 豚串、ホタテ焼き
- ・焼きそば、おでん、生ビール



●厚田区カローリング大会(10/9)

会場: 厚田小学校体育館

- ・入場者数: 約60名

参加チーム、選手人数: 16チーム 48名

※浜益大会派遣: 2チーム 6名(11/6)

※全道交流会派遣: 2チーム6名(11/17)



●厚田区ミニバレー大会(12/1)

- ・入場者数: 約150名

参加チーム、選手人数: 21チーム 110名

- ・小学生の部、一般の部(男女混成 ※中学生含む)



●厚田区ウィンターレクフェスタ(2/9)

入場者数: 約150名

- ・スキーゲレンデ開放
- ・人間カーリング選手権
- ・雪の滑り台1基設置(ちびっ子)
- ・雪中バナナボート、モービル乗車体験
- ・雪像コンテスト
- ・屋台コーナー(豚汁、豚串、ライス、ホットドリンク各種)



【協力事業】

◆Tour of KAMUI 厚田エイドステーション設置（5/12）

- ・平成 27 年より協力。
- ・民間のサイクリングツアーに協力し、エイドステーションとして厚田の旬の食材で昼食を提供。
- ・参加者 72名

◆濃屋山道トレッキング事業（7/27）

- ・平成 29 年より協力。
- ・参加者 15名 雨が強くなり当日現地にてやむなく中止

◆あつた夏祭り出店協力（8/4）

- ・平成 27 年より協力。
- ・会場：厚田総合センター前駐車場
- ・おでん、焼そば

◆「にしん漬け・にしん料理と雪の絶叫テーマパークツアー」（2/9）

- ・平成 29 年に続き、令和 2 年ツアー受入協力
- ・厚田区ウィンターレクフェスタ会場でスノーモービル体験、バナナボート体験等ウィンターレク体験の協力
- ・参加者 36名

●会議数 6 回（総会、実行委員会等）



Tour of KAMUI 厚田エイドステーション



濃屋山道参加者（H30）



R2.2「にしん漬け・にしん料理と雪の絶叫テーマパーク」参加者をスノーモービルで恋人の聖地／厚田展望台まで送迎

令和元年度 厚田区内 各団体活動報告

あつたの森支援の会「やまどり」 （平成 20 年 3 月 2 日設立 会員数 33 名(H30.4.1 現在)）

【目 的】

森林施業などの各種体験を通して区内の環境保全、森林の歴史などを子孫へ伝えながら森林を守り、山づくりに寄与し、山のすばらしさを多くの人たちと共有する。

【活動内容】

- 下草刈り
 - ・生活環境保全保安林（6 月～8 月 3 日程）
 - ・すこやかロード（6 月～8 月 3 日程）
- 地ごしらえ等
 - ・あつたふるさとの森（10 月 1 日程）
- 植栽
 - ・あつたふるさとの森（10 月 1 日程）
- 除間伐
 - ・生活環境保全保安林（11 月 1 日程）
- 会議数 2 回（総会、役員会等）



除間伐作業



あいろーどパーク内すこやかロード
草刈ルート

令和元年度 厚田区内 各団体活動報告

NPO法人 あつたライフサポートの会 （平成 20 年 3 月 29 日設立）

【目 的】

区内において地域の人達でお互いに地域を支え合い、安心して住み続けることができるシステムの構築を図るとともに、日常生活を支援し、住民の健康増進、福祉の向上に寄与する。

【活動内容】

●会員数

〈利用者会員数〉 29 名（内 移送 29 名登録） ※ 元年度新規加入者 1 名
〈サポーター会員〉 18 名
〈賛助会員〉 0 名

●委員会（会議） 9 回（安全運転講習会 内 2 回）

●事業項目と詳細

〈移送事業〉

- ・利用者数 550 名（H30 501 名）
- ・サポーター出動数 延べ 242 名（H30 258 名）
（バス 100 回・高齢者クラブ 140 回）

〈除雪事業〉

- ・依頼件数 0 件（H30_11 件）
- ・依頼戸数 0 戸（H30_ 8 戸）
- ・延べ作業時間 0H（H30_31H）
- ・延べサポーター出動数 0 人（H30_28 人）

●事業収入

〈移送事業〉 89,500 円（H30_92,050 円）

〈除雪事業〉 0 円（H30_28,050 円）



令和元年度 厚田区内 各団体活動報告

厚田資料室サポートの会 (平成 21 年 2 月 25 日設立 会員数 13 名)

※「あつた資料室リニューアル構想策定協議会」から平成 22 年 12 月「厚田資料室サポートの会」と名称変更

【目 的】

子母澤寛、戸田城聖、吉葉山潤之輔、佐藤松太郎の四名を中心に広く紹介し、歴史・文化に触れ親しんでもらうと共に厚田を全道・全国に P R し、新たな地域づくり、歴史文化の伝承を図る。

【活動内容】

道の駅石狩「あいロード厚田」の 2 階フロアーを活用した特別展等の実施に向け取り組みを模索。第 43 代横綱吉葉山の生誕 100 年を記念した特別展の実施について企画協力を行った。

※当初、令和 2 年 3 月中開催予定が 4 月以降に変更。



4 月 3 日から開催の「吉葉山」展の会場

令和元年度 厚田区内 各団体活動報告

地域教育分科会 （平成 22 年 2 月 17 日発足 会員数 10 名）

【目 的】

地域子ども達の教育向上に向け、「地域」「保護者」「学校」が一体となった地域教育を目指す。

【活動内容】

令和 2 年厚田学園が開校し、コミュニティスクール委員会が発足し、3 つの分科会（学校支援部・地域コーディネート部・広報部）が設置され、いよいよ地域と保護者と学校が一体となった取り組みが始まろうとしており、当分科会としてもCS委員会とも連携を図りながら、教育力向上に向けた活動を後押ししていきたい。

※現在は活動を休止中。

令和元年度 厚田区内 各団体活動報告

厚田アクアレール実行委員会（平成 22 年 12 月 10 日発足 会員数 11 名）

【目 的】

厚田のすばらしさを水彩画展を通してPRし、優れた芸術・文化に触れることで、豊かな人間性を育み、新たな地域づくりを目指す。

北の海厚田アクアレール「第5回水彩画展」

●第5回作品公募に向けた取り組み

【市民文化祭によるPR（過去受賞作品の展示）】3回

- | | | |
|--------------|-----------------|------|
| ・10/12～10/14 | 石狩市花川コミュニティセンター | 6 作品 |
| ・10/19～10/20 | 厚田保健センター | 4 作品 |
| ・11/3 | 浜益コミュニティセンターきらり | 4 作品 |

【道の駅石狩「あいロード厚田」でのPR】

- ・2F 文学・芸術コーナーに過去受賞作品を常設展示（通年） 5 作品
- ※他イベント時を除く

【ポスター、リーフレット等によるPR】

- ・過去出品者・美術団体・会員・道内美術関連公共施設
全道高等学校等 1,016 件
- ・期間：8月～
ポスター配布枚数 649 枚
リーフレット配布件数 5,283 枚
スケッチマップ配布件数 3,034 枚
道の駅石狩「あいロード厚田」に常時設置

【インターネットでのPR】1 件

- ・市 HP



募集ポスター

【新聞、専門雑誌によるPR】2件

- ・北海道新聞（有料）：1/1 の1面記事（7cm×4cm）掲載。全道版
- ・美術の窓 2020 年 3 月号（無料）：2/20 発売（15.5cm×5.7cm）

●会議数 4回



実行委員会の様子



ポスター・チラシ発送作業の様子

令和元年度 厚田区内 各団体活動報告

厚田こだわり隊 （平成 24 年 3 月 23 日発足 会員数 34 名）

【目 的】

厚田区内の生産者、消費者、販売者等が結集し、厚田の「土地」「味覚」「らしさ」にこだわって、厚田の良さをPRし、また漁業・商業、観光等連携を図り、共に持ち味を出し合い、新たな地域活性化に取り組む。

【活動内容】

●各種イベント出店

道の駅石狩、RSR（石狩市場） など

●PR事業

SNSを利用した情報発信

〈Facebook〉〈Blog〉〈Instagram〉

●研究開発事業

・「厚田こだわり隊のたれ」開発、商品化（H27/6）

・「厚田のぶたまん」の開発、商品化（H28/4）

※NBFの望来豚使用

※主な販売場所 （札幌）きたキッチン
（市内）JA いしかりとれのさと
（区内）道の駅石狩、阿部商店

・「厚田のフランクフルト」の開発、商品化（H29/4）

※NBFの望来豚使用

※主な販売場所 （区内）道の駅石狩、阿部商店

・「厚田のあんまん」の開発、商品化（H30/4）

※餡については、JA北いしかり女性部厚田ブロックが製造協力

※イベント時のみ販売

・「マーラーカオ」の開発、商品化（R1/8）

※飛ぶ鳥農場の海の街卵使用

※イベント時のみ販売

●会議数

・大作戦会議 1 回 ・作戦会議 1 回



1 厚田区コミュニティ「ゆめ倶楽部」事業実績

年 度	スポーツと 食の体験	ミニバレー ボール	ウィンター レクフェスタ	サンセット	厚熱集ビ ア (旧夕日の丘ピア)	カローリング	備 考
19	250人	180人	250人				☆125千円基金活用(19年度～3年間)
20	280人	190人	150人				ミニバレー浜益参加(1チーム)
21	300人	190人	5,000人				ミニバレー緑苑台参加(1チーム) ウィンターレク石狩商工青年部と共同開催
22	300人	150人	200人				ミニバレー緑苑台参加(2チーム)
23	200人	150人	中止(吹雪)				ミニバレー緑苑台参加(3チーム)
24	200人	130人	150人	800人	200人		ミニバレー緑苑台参加(3チーム)
25	200人	150人	200人	1,000人	100人	50人	ミニバレー緑苑台参加(3チーム) 厚熱集ビア:雨天
26	150人	100人	150人	500人	200人	80人	ミニバレー緑苑台参加(3チーム)
27	200人	80人	150人	1,000人	200人	60人	ミニバレー緑苑台参加(2チーム)
28	180人	80人	100人	1,000人	250人	60人	ミニバレー緑苑台参加(3チーム)
29	100人	130人	100人	1,000人	250人	60人	ミニバレー区外チーム参加 (緑苑台4、紅南2、生振5、生活クラブ ²)
30	150人	100人	150人	-	150人	60人	ミニバレー区外チーム参加 (緑苑台2、生振6、江南1、生活クラブ ¹)
1	80人	150人	100人	—	250人	60人	ミニバレー区外チーム参加 (緑苑台4、紅南2、生振5、生活クラブ ²)
計	2,590人	1,780人	6,700人	5,300人	1,600人	430人	

★ 地域づくり基金 125千円 × 3年間 事業費の一部として活用 (H19～21年度)
☆ 25年度より「ゆめ倶楽部」と名称変更(旧厚田区自治体育振興会)

2 あつたの森支援の会「やまどり」実績

年 度	草 刈		植 樹		枝 打 ち		研 修 ・ 交 流		地 域 振 興 支 援 事 業
	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	
21	4回	69人	1回	20人	—	—	—	—	流れ橋設置撤去
22	9回	89人	2回	43人	1回	16人	4回	62人	流れ橋設置撤去 資料室看板製作設置
23	12回	80人	2回	42人	1回	13人	3回	67人	流れ橋設置撤去
24	8回	64人	—	—	—	—	2回	54人	流れ橋設置撤去 水彩画告知看板製作設 置
25	12回	49人	2回	71人	1回	12人	3回	35人	流れ橋設置撤去
26	12回	74人	2回	33人	0回	0人	2回	32人	流れ橋設置撤去
27	12回	67人	1回	60人	1回	9人	3回	79人	
28	11回	56人	1回	48人	1回	8人	3回	70人	
29	5回	47人	1回	21人	1回	10人	3回	58人	
30	3回	28人	1回	31人	—	—	3回	67人	
1	3回	32人	1回	37人	1回	6人	2回	36人	
計	91回	655人	14回	406人	7回	74人	28回	560人	

★ 地域づくり基金 1,500千円活用 資機材購入 (H22年度)

3 NPO法人 あったライフサポートの会 事業実績

年 度	移 送 事 業					除 雪 事 業			
	サポーター数	利用者数	送 迎 内 訳			件数	戸数	時間	サポーター数
			バス送迎	高齢者	イキイリハ			(延時間)	(延数)
21	306人	910人	112回	80回	30回	1件		4H	2人
22	308人	903人	37回	96回	16回	8件		29H	26人
23	225人	607人	35回	72回	13回	44件		272H	168人
24	275人	598人	70回	90回	18回	25件		110H	73人
25	238人	587人	26回	144回	2回	20件		99H	59人
26	240人	558人	86回	122回	24回	17件		80H	59人
27	208人	518人	58回	126回	12回	11件		64H	42人
28	296人	675人	83回	138回	4回	2件	2戸	3H	7人
29	325人	628人	126回	170回	0回	17件	10戸	64H	54人
30	258人	501人	99回	147回	0回	11件	8戸	31H	28人
01	242人	550人	100回	140回	0回	0件	0戸	0H	0人
計	2,921人	7,035人	832回	1,245回	119回	156件	20戸	756H	518人

★ 地域づくり基金 583千円活用 事業開始に係る初期経費や備品の一部を購入（H21年度）

4 資料室サポートの会 入館者等実績

年 度	入 館 者		入 館 料		備 考 (会館期間:5月1日～10月30日(6ヶ月間))
	人 数	対前年比	収 入	対前年比	
19	1,209人	—	2,600円		5月～9月末(無料)、10月から有料
20	302人	25.0	55,640円	2140.0	リニューアル構想策定協議(4月～3月末)
21	381人	126.2	67,320円	121.0	地域づくり基金 3,000千円活用 内部改修
22	2,816人	739.1	414,000円	615.0	5月16日リニューアルオープン(初日 503人無料入館)
23	2,218人	78.8	398,520円	96.3	プレゼント企画 特別展3回 営業活動
24	2,978人	134.3	549,600円	137.9	特別展2回 営業活動
25	3,224人	108.3	579,120円	105.4	プレゼント企画 特別展3回 営業活動
26	2,627人	81.4	390,560円	67.4	プレゼント企画 特別展3回 営業活動
27	1,326人	50.5	226,440円	58.0	プレゼント企画 特別展3回 営業活動
28	—	—	—	—	閉館
計 (H22～)	15,189人		2,558,240円		※ 計は、リニューアル後(22年度以降)の数字

★ 地域づくり基金 3,000千円活用 内部改修（H21年度）

5 厚田アクアレール水彩画展 事業実績

回 数	応募点数(内道外率)		入場者数(人)	地 域 協力者(人)	備 考
第1回 (H23・24)	157	10.2	1,233	61	★ 地域づくり基金 2,629,500円 活用 (3/4)
			(有料339名、無料894)		(H23 229,500円、H24 2,400,000円)
第2回 (H25・26)	106	12.3	919	50	★ 地域づくり基金 1,164,000円 活用 (1/2)
			(有料506名、無料413)		(H25 258,000円、H26 906,000円)
第3回 (H27・28)	138	12.8	792	50	★ 地域づくり基金 1,028,165円 活用 (1/2)
			(有料438名、無料354)		(H27 162,532円、H28 865,633円)
第4回 (H29・30)	115	5.2	786	35	★ 地域づくり基金 761,239円 活用 (1/2)
			(有料573名、無料213)		(H29 155,222円、H30 606,017円)
第5回 (H01)					★ 地域づくり基金 168,360円 活用 (1/2)
			(有料 名、無料)		(R01 168,360円、R02 -)

6 厚田こだわり隊 事業実績

【直売事業】

年度	開催 期間	開催 回数	売上(円)	利益(円)	利益率(%)	販売品提供者(人)				販売員		
						計	生産者 (隊員)	生産者 (協力 者)	団体 (協力者)	隊員	地域 協力者	延べ 人数
24	7月～8月	8	489,602	126,328	25.8	5	3	0	2	9	11	66
25	7月～9月	22	1,483,460	341,556	23.0	13	6	3	4	10	9	182
26	7月～9月	26	2,019,610	114,386	5.7	26	8	11	7	5	4	77
27	7月～9月	29	2,156,732	▲ 63556	▲ 2.9	22	11	5	6	6	2	108
28	7月～9月	23	3,178,677	273,569	9	29	7	15	7	7	1	96
29	7月～10月	26	2,636,715	▲ 5420	▲ 0.2	-	-	-	-	10	1	109

※ H29年度で直売所終了